

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・異動や店の新規オープンのお祝いに伴い、花の需要が高く、来客数、販売量が増えている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・ゴールデンウィーク前にもかかわらず、人の動きは活発である。購買に直接結び付かないが、心の高揚がある。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	販売量の動き	・新茶の時期に入り、新茶を土産にする客が増え、売上は徐々に伸びている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・春物衣料、靴の動きが悪い。天候不順やデリバリーの悪さ、ヒット商品の不在により、売上拡大につながらない。また男性のカジュアル衣料の不振が目立つ。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・チラシの配布を日曜日から火曜日と土曜日に変え、売上高は前年比100%に近づいてきた。大型店が日曜日に集客するため、平日をターゲットにしている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・所得の上昇は感じないが、必要な物は品質重視で求める客が増えている。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が増加している。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・客の動きが良く、売上も若干伸びている。
		一般レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・1、2月に行ったチラシ等の販促効果が、徐々に出ており、来客数が増加している。
		タクシー運転手	単価の動き	・利用客が増え、客単価も上昇傾向にあり、利益幅が増えた。
	ゴルフ場（従業員）	お客様の様子	・これまでなかった商工会議所や地域の小売業者のゴルフのコンペが再度企画されるようになってきた。	
	変わらない	商店街（組合職員）	それ以外	・商店街の空き店舗が20%を超えている。空き店舗も売場面積の広い店舗が増加しているため、特に目立つ。
		商店街（代表者）	単価の動き	・依然として販売量、来客数の伸びが全く向上かない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・周辺に新しい商業施設ができ、中心商店街の来街者がかなり減少した。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・気候が少しずつ良くなり、商店街の人の流れは良くなっているが、購買量は増えていない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・気温が平年並みになっても、来客数が増えない。婦人服のトレンドがワンピースのみで客の購買意欲が上昇しない。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・売上が全く上がらない。競合店の販売動向を見ても右肩上がりの傾向は見られず、前年を超えられないところが大多数である。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・絵画展等のイベントは、来客数も多く関連商品販売は好調であった。文化催事への関心の高さが現れた。また月末の粗品付き全店催事は来客数、売上高共に好調であり、バーゲンは特に好調であった。玩具、文具の動きも良かった。一方、紳士、婦人衣料は共に低迷している。
		百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・新社会人や新入生、マザーニーズなどの直近需要は、カジュアル化やはん用性の高い商品への移行が進み、スーツ等の重衣料も不振である。中盤から統一選挙などの影響もあり来客数、売上共苦戦が続いた。
		百貨店（業務担当）	お客様の様子	・価格より魅力のある商品、企画への反応が良くなっており、慎重な消費行動をする客が増えている。
スーパー（店長）		販売量の動き	・一品単価、買上点数共に頭打ちの状態である。	
スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は前年比102%であるが、客単価は前年比98%と伸び悩んでいる。		
スーパー（総務担当）	お客様の様子	・食品は前年並みであるが、衣料品は天候に左右されやすく売上に結び付かない。まだまだ衣料品までの購買につながっていない。		

スーパー（企画担当）	来客数の動き	・大型ショッピングセンターや総合スーパー等の競合店の影響が大きく、苦戦している。リニューアルオープンをした店舗が予想以上に苦戦している。	
コンビニ（経営者）	単価の動き	・客は必要なもの以外は全く購入しない。	
コンビニ（エリア担当・店長）	お客様の様子	・やっと気温も上昇してきたが、依然として春物に対する買い控えがある。	
コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・売上は量販店が前年比99.9%、コンビニエンスストアが同100.1%、ローカルスーパーが同100.3%とほぼ前年をクリアしている。しかし、生産個数をみるとほぼ横ばいである。	
衣料品専門店	お客様の様子	・天候の影響で前半は来客数が少なく、後半になって増えた。しかし、常連の客がほとんどで、特に新しい客が増えたということはない。	
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・単価の低い小物目当ての客は増えているが、単価の高い物は依然売れない。	
衣料品専門店（店長）	単価の動き	・寒暖の差が大きく中途半端な天候で、相変わらず販売状況は好転しない。しかし、高額商品が少しずつ動いている。	
衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・春夏衣料で単価が低く、必要なものを必要な枚数購入する客が多く、相変わらず購買意欲は低い。ゴールデンウィーク前のセール開催で、来客数は多かったが、正価販売品の動きは悪い。	
衣料品専門店（店員）	単価の動き	・温暖の差が激しく、衣料品の売上は伸び悩んだ。迷いながら単価の低い商品を1点買いする客が多かった。	
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・ヤング衣料品の売上は前年並みであったが、ミセス婦人服が前年割れ、特に高級婦人服の売上は減少した。宝飾品も前年をやや下回った。着物は展示会催事を実施したのでやや前年を上回った。	
住関連専門店（経営者）	単価の動き	・来客数、客単価共に低く、依然厳しい。	
住関連専門店（店長）	来客数の動き	・販売価格は上がり気味であるが、来客数の様子に変化はない。	
その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	販売量の動き	・燃料油の小売価格は上昇の局面であったが、出荷量については前年に比べさほど変化はない。個人消費については、フルサービススタンドを利用する客と、セルフスタンドを利用する客と分かれている。法人客についてはさほど変化はない。	
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・選挙があり、接待という形での客は少なかった。紹介等で団体客が入り、来客数は増加したが客単価は低かった。	
高級レストラン（専務）	来客数の動き	・人口に対して郊外型の店舗がたくさんできており、県外観光客も少なくなっており、来客数は減少している。	
スナック（経営者）	単価の動き	・来客数は伸びているが、グループ客の低単価が目立つため、それほど売上には貢献していない。	
その他飲食[居酒屋]（店長）	お客様の様子	・鹿児島ではビアガーデンが始まったが、2次会としての利用が多く、料理があまり出ない。しかし天気に恵まれ、客の動きは非常に良い。	
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・西九州の観光客は全体的に減少している。	
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・宿泊、婚礼、宴会について、ほぼ計画どおりに推移しており、前年比も変わらない状況である。	
タクシー運転手	来客数の動き	・会社全体の売上がかなり落ちている。大型ショッピングセンターがオープンしたが、買物客が少なく、タクシー利用の客も増加しない。	
美容室（店長）	お客様の様子	・婚礼があったため売上は良かったが、その他は変化がない。	
設計事務所（代表取締役）	お客様の様子	・公共事業の都市計画等の建設コンサルティング業務は、発注量が減少している。	
やや悪くなっている	一般小売店[青果]（店長）	単価の動き	・来客数、客単価共に減っており、嗜好品関係の果物も買い控え傾向である。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・ユーロ高に伴う値上げによるラグジュアリーブランドの売上不振と、春から続く婦人衣料の売上不振が百貨店の売上を押し下げている。

	百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・食料品、飲食部門の売上が伸びたが、雑貨部門が大幅に落ち込み、全体としては大幅に落ち込んだ。	
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・大型専門店がオープンし、競争が一段と激化している。	
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・売上高は前年比3ポイントほど低下した。来客数もそれに近い割合で減少している。大きな要因は市長の銃撃で、それから1週間ほどは自粛ムードが続き、他店の大型店を見ても良くない。	
	スーパー（店長）	来客数の動き	・客の動きが非常に悪く、衣料品の売上の前年比が厳しくなっている。	
	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・例年以上に寒暖の差が激しく、販売商品のムラが大きい。また、競合店が多数出店しており、競争の激化に拍車がかかっている。	
	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・新たな客層の取り込みを図るため、大々的なキャンペーンを実施したが、予想を大幅に下回る結果となった。	
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数が減少傾向にある。スーツ類の需要に変化があったことや大型店の増加で、小型店は客層を絞り、商品を絞らざるを得なくなっている。しかし、変化のスピードが早く、ついていけないのが現状である。	
	乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・燃費の良い車にしようという客が多く、単価の低い車が良く売れる。	
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・人の動きが全くない。学会等で売上が上がった昨年の反動により、今年は落ち込みが激しい。	
	観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・一般宴席は前年度を大きく上回り、順調に推移しているが、売上の中心である婚礼が前年を大きく下回っている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊・食堂・宴会共に来客数が大幅に落ち込み、苦戦を強いられている。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・空港やホテルの客は増えているが、タクシー利用の客は減っている。	
	通信会社（管理担当）	お客様の様子	・再び原油価格が上昇傾向にあり、客からの提供価格低減要求が、一層厳しくなってきた。	
	通信会社（業務担当）	来客数の動き	・3月の勢いを持ち越し、ある程度の携帯販売台数はあがったが、キャリア間の競争激化に加え大手量販店への客の流出により、来客数は平日・週末共に減りつつある。	
	悪くなっている			
企業動向関連	良くなっている			
	やや良くなっている	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・鳥インフルエンザの件で宮崎県知事がマスコミに取り上げられ、宮崎向けの素材供給が前年比で1.5倍から1.8倍に伸びている。他の居酒屋、スーパー関連も前年並みに動き始めている。ただし、加工メーカー向けの原料素材供給は極端に厳しい状況にある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・企業努力により、注文、新規取引が拡大した。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・取引先の企業をみると、設備投資を拡大しており、良くなっている。
		その他サービス業〔物品リース〕（従業員）	取引先の様子	・3月の大幅な契約増加に比べると、数字的には落ちているが、競争が厳しい中、引き合い案件の量は堅調に増加している。
変わらない		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注量や物件情報の伸びに一服感がある。今月までは3月の年度末需要の余波があり、前年比で2けた増加しているが、5月以降の物件情報が少なくなっている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・原材料の主原料である陶土が取引先の状態で減少している。商社の取引関係はなかなか競争が厳しく、流通も変化している。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年受注できている半月先の受注生産が確保できていない。また、引き合いも客の反応が鈍く、手探りの状態である。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連で、特に電子部品関連は在庫調整となっているが、金型産業は順調に推移している。当社は仕事量を確保しており、悪いながらもフル操業の状態である。

	通信業	受注量や販売量の動き	・相変わらず受注価格などは厳しいが、工事量は減少していない。	
	金融業	取引先の様子	・業種や企業によって完全に2極化している。取引先の建設業や卸売業など、これまで厳しい状況にあった企業はさらに悪化している。一方、製造業では、採用の増加や投資の計画もあり、良くなっている。	
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・地場建設業にて、受注量は増えているが、単価が依然として低い状況は変わらない。また、公共工事も減少に歯止めが掛からない状況にある。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・飲食店の受注取引が少なくなっている。飲酒運転取締りの影響は続いている。	
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・契約の単価が縮小気味である。	
やや悪くなっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・工事の受注高が上がらない。大型案件の工事がなく、リフォーム程度の小規模の工事が数件あるのみである。	
	金融業（営業職 渉外係）	取引先の様子	・取引先である建設業、流通業者の中には業況が芳しくないところが多く、資金繰りが厳しくなっている。また融資枠も限界があり、断るケースも増えてきた。	
	不動産業	受注量や販売量の動き	・賃貸需要が減少し始め、3か月前とほぼ同じ販売量となった。	
悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・飼料価格の高騰が響いており、厳しい。	
雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人依頼が増えている一方、人材が不足している業種もある。
		民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・新年度に入り、求人件数は前年以上の需要がある。男性の求人に対する供給難が顕著になってきた。
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・来春の大卒の求人の出足が良いようである。求人募集広告も新卒を対象としたものが目立っている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・本来なら新予算の関係で増員の依頼があるが、本年度は動きが鈍い。企業は新卒拡大にあわせ、キャリア採用に停滞感がある。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣のオーダー数は3か月前とほとんど変わらないが、長期のウェイトが10ポイントほど上昇している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人に占める正社員求人の割合が高まらず、請負から派遣への切替とその求人の増加が目立っている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・パート求職者は若干増えている。就職の件数も昨年より1割ほど多くなっている。パートだけをみると若干良くなっているが、全体としてはあまり変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・全体の求人数は増加しているが、フルタイム求人数は減少している。パート、アルバイト、臨時職員等の求人が増加している。
	悪くなっている	学校〔大学〕（就職担当者）	採用者数の動き	・企業の求人意欲や採用者数の動向は、依然として活発である。
		民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・人材派遣業界のピークを過ぎて一段落している。顧客からの求人依頼も1か月未満のスポット的な依頼が多い。
悪くなっている	-	-	-	